

2026年3月30日  
商工中金

## 金属製品の表面処理を手掛ける理研アルマイト工業株式会社に対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）の大森支店は、理研アルマイト工業株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表者：上野 翼）に対し、サステナブル経営に必要な資金として5億円の融資枠を開設しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、アルミニウムを中心とした金属製品の表面処理を主力とし、耐久性・耐摩耗性・耐食性などの性能向上を実現する技術を提供しています。専門性を強みに、航空宇宙や半導体分野、医療機器など、高精度が求められる分野への対応を強化しています。

今回同社は、労働安全に関する管理基準の遵守やLED照明導入による環境負荷低減の取り組み等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取り組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【理研アルマイト工業株式会社の概要】

|      |                     |
|------|---------------------|
| 所在地  | 神奈川県川崎市川崎区桜本2丁目44-1 |
| 代表者  | 上野 翼                |
| 資本金  | 6,000万円             |
| 従業員数 | 216名（2025年9月時点）     |
| 設立   | 1952年10月            |
| 業種   | 金属製品製造業             |

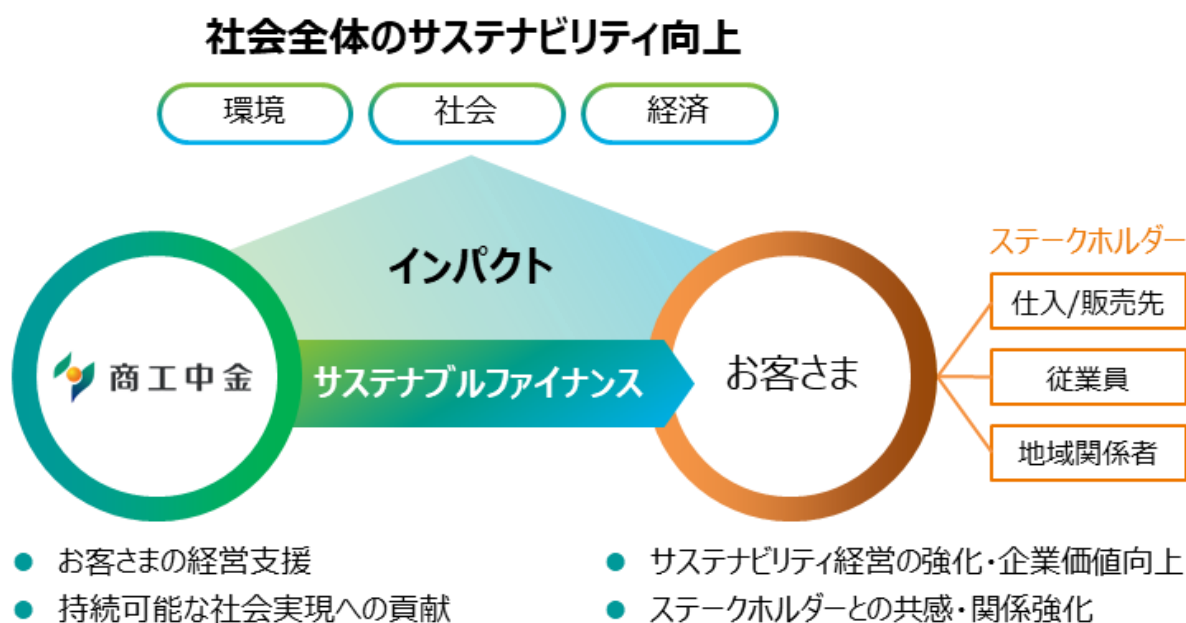


【同社製品】

(※) 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。



(※) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。